

上記のラファエルの中に、次のやうな韻文の(これが屢々ある形式だが)占星理論が引用されてゐるといふ:

月がアリエスにあるとき、命は長く、
 タウルス、ゲミニ、カンケルにあれば強い。
 しかし月がレオンで争ふときは、
 人間の命は全く短くて、苦痛に満ちてゐる！
 ウィルゴでは、汝は、彼女が忠實であり
 幸福で正當で、且つ愛情深いを見るであらう！
 しかし、それでも人間の年は、短くて、僅かだ！
 そこで、彼女のつかの間のリブラ通過の速さを眺めよ。
 生命の焰を、彼女は絶えず嘯み、
 動作と行ひとにおいて、名高くするであらう！
 歎け！スコルピオに、彼女がサギッタリウスの
 矢を追ふとき！筋と
 腿との力よ、力強い優美、この後者の宮よ！
 長い命と幸福とは、そのとき汝のものだ！
 カプリコルヌス、アクッリウスでは、短いが、
 しかし、ビスケスは、運命の投槍を絶えず見守る。』

以上のやうに見て來ると、この占星術といふ迷信には、賭博などのやうな遊戯の要素がかなりはいつてゐると思はれる。そして、このことが、又、占星術のいつまでも榮えてゐる一つの原因ではなからうか。ともかく、これは一つの問題になり得ると思ふ。(終)

冬の星 (8句)

冬嶽に向けばこぬれに星移る	幸	彬
カシオペア蝙蝠のごと野の冬至	雄	一
星空のもとの凍土踏む兵馬	縁	章
星凍つる夜半黒服のゆく聲音	亨	福
肇國の光秘め星が凍ててゐる	嶺	子
歴史生るゝ日のオリオンは澄みまさる	矩	生
夜々を冴え天狼寒く窓に展け	昌	久
退勤の北斗の窓に寒波來る	支	魚